

週間情報

No. **0838**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcqj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 事務局職員の人事異動について

[全国消防長会](#)

- ◆ 令和8年度静岡県中部地区消防会大規模災害対応合同訓練を実施

[静岡県中部地区消防会（静岡）](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

- ◆ 「西胆振行政事務組合管内消防団合同訓練」を実施

[西胆振行政事務組合消防本部（北海道）](#)

- ◆ アジア競技大会に向けたNBCテロ対応合同訓練を実施

[浜松市消防局（静岡）](#)

- ◆ 「土砂災害救助対応合同訓練」を実施

[鹿行広域事務組合消防本部（茨城）](#)

- ◆ 真庭警察署と合同山岳救助訓練を実施

[真庭市消防本部（岡山）](#)

- ◆ 「水難救助用船艇取扱い訓練」を実施

[栃木市消防本部（栃木）](#)

- ◆ 茨城県防災航空隊との合同訓練を実施

[常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）](#)

▽研 修

- ◆ 受援本部指揮支援実務研修会を実施

[那須地区消防本部（栃木）](#)

- ◆ 「消防職員向け特別法学セミナー」を実施

[甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨）](#)

▽その他

- ◆ 住宅用火災警報器の普及啓発ポスター原画制作表彰式を実施

[埼玉東部消防組合消防局（埼玉）](#)

- ◆ 人命救助功労者に感謝状を贈呈

[四国中央市消防本部（愛媛）](#)

- ◆ 消防協力者と消防協力団体へ感謝状を贈呈

[西条市消防本部（愛媛）](#)

- ◆ 消防協力者と消防協力団体に感謝状を贈呈

[宜野湾市消防本部（沖縄）](#)

- ◆ 夏休み期間中に他課と連携した消防広報や防災啓発を実施

[豊田市消防本部（愛知）](#)

- ◆ 北消防署真和志出張所の運用を開始

[那覇市消防局（沖縄）](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ 「救急フェスタ」を開催

豊中市消防局（大阪）

- ◆ 「いのちのWAプロジェクト救急フェア2026」を開催

姫路市消防局（兵庫）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正について

（消防救第347号、令和8年9月17日）

▽報道発表

- ◆ 令和8年度消防防災科学技術賞受賞作品の決定

（令和8年9月25日、消防庁）

- ◆ 令和8年8月の熱中症による救急搬送状況

（令和8年9月25日、消防庁）

- ◆ 林野火災における消火剤を活用した空中消火活動に関する検証の実施

（令和8年9月25日、消防庁）

▽情報提供

- ◆ 令和8年度危険物事故防止対策論文募集

消防庁・危険物保安技術協会

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 事務局職員の人事異動について

全国消防長会

このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

1 令和8年9月30日付異動

帰任2名

佐藤 通洋	主事	事業部事業企画課財政担当係長	東京消防庁へ
泉 真	主事	総務部総務課総務第一主任	東京消防庁へ

2 令和8年10月1日付異動

着任（委嘱）2名

村上 重行	主事	事業部事業企画課財政担当係長	東京消防庁から
谷口 雅仁	主事	総務部総務課総務第一主任	東京消防庁から

◆ 令和8年度静岡県中部地区消防会大規模災害対応合同訓練を実施

静岡県中部地区消防会（静岡）

静岡県中部地区消防会（静岡市消防局、志太広域事務組合志太消防本部）では、令和8年9月14日（月）、藤枝総合運動公園において、令和8年度静岡県中部地区消防会大規模災害対応合同訓練を実施しました。

この合同訓練は、大規模林野火災の発生を想定し、静岡市消防局（エネルギー・産業基盤災害即応部隊）と志太広域事務組合志太消防本部、航空部隊および静岡県志太榛原生コンクリート協同組合との連携要領を実動訓練により検証するとともに、関係機関相互の連携強化および対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、雨天により航空部隊の活動は行わず、陸上活動隊が各関係機関と連携し、消防用水の確保、補水体制および山間部における遠距離送水体制の確立ならびに放水活動要領の習熟に取り組みました。

今後も、関係機関相互の連携体制をより一層強化し、大規模災害への対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

消防本部の動き

▽訓練

◆ 「西胆振行政事務組合管内消防団合同訓練」を実施

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和8年9月12日（土）、洞爺湖町の洞爺湖畔において、「西胆振行政事務組合管内消防団合同訓練」を実施しました。

この訓練は、西胆振行政事務組合を構成する伊達市、豊浦町、壮瞥町および洞爺湖町の各消防団と合同で、近年、全国各地で多発している林野火災を想定し、大規模化した火災にも対応できる体制づくりを目的として実施したものです。

訓練では、「各消防団が管轄する境界付近で大規模な林野火災が発生した」との想定で、1隊に3消防団を編成し、小型動力ポンプを湖畔に部署して中継送水を行い、ポンプ車から放水する訓練を2隊同時進行で2回実施しました。

また、各消防団が所有する車両や資機材を使用して活動要領の確認を行い、組合管内消防団相互の連携強化および揚・送水技術の習得を図りました。



【訓練の様子】

◆ アジア競技大会に向けたNBCテロ対応合同訓練を実施

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和8年9月14日（月）、浜松市総合水泳場T o B i Oにおいて、「第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）」の開催に向け、静岡県警察および大会組織委員会と合同でNBCテロ対策訓練を実施しました。

同会場は、アーティスティックスイミングの競技会場として使用される予定です。

この訓練は、NBCテロ災害への対応力向上と関係機関相互の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、3機関による情報共有要領や役割分担、活動手順を確認しました。

また、訓練終了後には検討会を実施し、活動上の課題について意見交換を行うことで、相互理解を深めました。

今後も安全・安心な大会運営に向け、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「土砂災害救助対応合同訓練」を実施

鹿行広域事務組合消防本部（茨城）

鹿行広域事務組合消防本部では、令和8年9月17日（木）、茨城県行方市の東関東自動車道行方PA（予定地）工事現場において、かすみがうら市消防本部と「土砂災害救助対応合同訓練」を実施しました。

この訓練は、土砂災害発生時における救助活動に必要な知識および技術の向上と、消防本部間の連携強化を目的として実施したものです。

訓練では、「土砂災害により要救助者が土砂に埋没した」との想定で、土砂の掘削および除去、要救助者の救出などの救助活動を実施し、掘削方法や隊員の配置、活動手順などを確認しました。

訓練を通じて、土砂の掘削方法や活動隊員のローテーション、要救助者の状態を確認しながら活動することの重要性などを相互に確認し、各消防本部の活動要領や救助技術を共有するとともに、連携強化を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 真庭警察署と合同山岳救助訓練を実施

真庭市消防本部（岡山）

真庭市消防本部では、令和8年9月17日（木）、岡山県真庭市三阪のやまびこスタジアム裏山林において、真庭警察署と合同で山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年、山間部において熊の出没が確認されていることから、山岳救助活動中に熊と遭遇した場合などを想定し、関係機関相互の連携強化と隊員の救助活動能力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、山林内での要救助者の捜索・救出活動を想定し、熊の出没情報を踏まえた活動区域の設定や隊員間の連携、安全管理を図りながらの救助活動について確認しました。

また、険しい地形や視界が制限される山林内での活動を通じて、熊などの野生動物による二次的危険を考慮した安全管理についても検証しました。

今後も、警察をはじめとする関係機関との連携を密にし、山岳地域における救助活動の安全性と対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「水難救助用船艇取扱い訓練」を実施

栃木市消防本部（栃木）

栃木市消防本部では、令和8年9月17日（木）から18日（金）までの2日間、渡良瀬遊水地の谷中湖において、「水難救助用船艇取扱い訓練」を実施しました。

この訓練は、実災害を想定した訓練を通じて、水難救助活動における各所属の連携強化および災害対応力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、現場からの119番通報を受け、通信指令課がLive119（映像通報システム）を活用して状況を聴取するとともに、各所属が出動指令を受け出動しました。

現場では、水上バイクにレスキュースレッド（救助用板）を装着した救出訓練、水難救助用船艇を使用した救出訓練、陸上からの要救助者位置特定訓練および潜水訓練を実施しました。

また、通信指令課および栃木市消防署、大平分署、藤岡分署、岩舟分署の1署3分署が合同で水難事故を想定した訓練を実施するのは初めてであり、各所属の連携強化および活動要領の確認を図る有意義な訓練となりました。

今後も訓練を通じて研さんを重ね、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 茨城県防災航空隊との合同訓練を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年9月17日（木）と18日（金）の2日間、茨城県防災航空隊との合同訓練を実施しました。

この訓練は、茨城県防災航空隊と地上部隊の連携強化および災害対応力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、マーシャル訓練、状況調査訓練および消防給水による上空からの消火訓練を実施するとともに、ドクターヘリ補完的運航に伴う機内収容要領の確認を行いました。

また、航空隊と地上部隊が相互理解を深め、共通認識の向上を図りました。

今後も激甚化する災害に対し、安全・確実・迅速に対応するため、防災航空隊の協力を得ながら継続的に訓練を実施し、連携強化および災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【航空隊との集合写真】

▽研 修

◆ 受援本部指揮支援実務研修会を実施

那須地区消防本部（栃木）

那須地区消防本部では、令和8年9月15日（火）、4階大会議室において、受援本部指揮支援実務研修会を実施しました。

この研修会は、横浜市消防局職員を講師に迎え、横浜市消防局の先進事例を参考に、指揮本部の設置や応援部隊の受け入れ手順、現地合同調整所の運営、関係機関との連携方法を学ぶことを目的として実施したものです。

研修会では、災害発生時に迅速かつ的確な情報共有や活動調整を行うための体制づくり、宿営場所や進出拠点の確保、女性隊員への配慮など、実践的な内容を確認しました。

今後は、本研修で得た知識や経験を災害対応に生かし、受援体制のさらなる強化と災害対応力の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「消防職員向け特別法学セミナー」を実施

甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨）

甲府地区広域行政事務組合消防本部では、令和8年9月16日（水）、予防業務を担当する職員を対象に「消防職員向け特別法学セミナー」を開催しました。

このセミナーは、消防業務を遂行する上で必要な法律に関する知識の向上を目的として実施したものです。

当日は、山梨県弁護士会所属の弁護士法人F o r P E A C E 法律事務所の土橋順弁護士を講師としてお招きし、「法律とは何か ～消防法から読み解く法律の役割とリーガルマインド～」と題してご講演いただきました。

日頃、法律について学ぶ機会が少ない中、消防法の位置付けや適正手続の重要性など、法律の基礎知識を学ぶ貴重な機会となりました。

今回のセミナーで得た知識を今後の業務に生かし、より一層の火災予防の推進に努めてまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 住宅用火災警報器の普及啓発ポスター原画制作表彰式を実施

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和8年9月11日（金）、住宅用火災警報器設置促進ポスター原画制作者に対して、消防局長から表彰状を授与しました。

これは、住宅用火災警報器の設置（交換）の必要性について住民の理解を深めることを目的として制作した普及啓発用ポスターの原画制作に協力した、埼玉県立宮代高等学校ART部の生徒の功績をたたえ実施したものです。

制作したポスターは、管内の加須市、久喜市、幸手市、白岡市、杉戸町および宮代町の公共施設や事業所など約1,500か所に配布し、掲示していただく予定です。



【啓発ポスター】



【表彰式後の記念撮影】

◆ 人命救助功労者に感謝状を贈呈

四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和8年9月16日（水）、人命救助功労者2人（1人欠席）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月6日（金）、山間部で発生した救急救助事案において、通りがかった人命救助功労者2人が協力し、勇敢な救助活動を行い、救急隊に引き継いだものです。

傷病者は、手術やリハビリテーションを経て、自力歩行が可能となるまでに回復し、退院されました。

2人の迅速かつ的確な行動は、傷病者の救助に多大な効果をもたらし、尊い命を救うことに大きく貢献されたものであり、その功績は市民の模範として高く評価されるものです。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 消防協力者と消防協力団体へ感謝状を贈呈

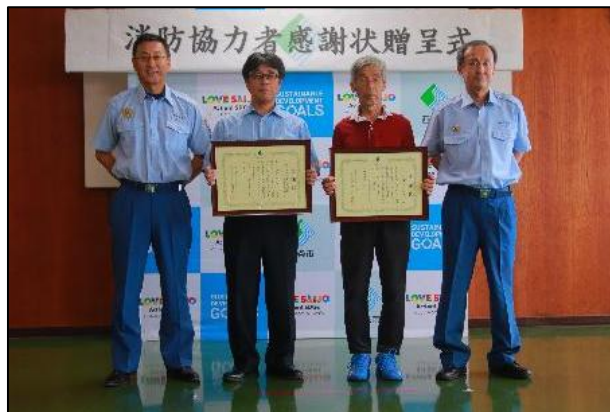
西条市消防本部（愛媛）

西条市消防本部では、令和8年9月17日（木）、水難救助活動および救急救護活動において特に功績のあった消防協力者と消防協力団体（個人1人・1団体）に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

水難救助事案では、市内河川において遊泳中の成人男性が水没しているのを発見し、消防協力者が自ら泳いで救助活動を行い、尊い命を救うことに大きく貢献したものです。

救急救護事案では、伊予西条駅で切符購入中に卒倒した成人男性に対し、駅長および職員10人が連携して心肺停止状態の傷病者に適切な救命処置を行い、尊い命を救うことに大きく貢献したものです。

消防協力者の勇敢かつ迅速な行動により、人命救助に大きく貢献したことに對し、心から感謝と敬意を表します。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 消防協力者と消防協力団体に感謝状を贈呈

宜野湾市消防本部（沖縄）

宜野湾市消防本部では、令和8年9月10日（木）、消防協力者と消防協力団体（個人1人、団体1団体）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月31日（火）、食事中に発生した心肺停止事案において、両者が連携して迅速かつ的確な救護を行い、到着した救急隊へ傷病者を引き継いだものです。

尊い生命を救われた消防協力者と消防協力団体の皆さまの勇気ある行動と、その多大なる功績に對し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈式の様子】



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 夏休み期間中に他課と連携した消防広報や防災啓発を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和8年7月18日（土）から8月31日（月）までの45日間、地域の交流館に特設ブースを設置し、子ども向けの防火防災啓発を実施しました。

この取り組みは、関係部署と連携し、子どもたちが消防や防災を身近に感じるきっかけづくりを目的として実施したものです。

ブースには、消防関連図書や防火衣を展示し、消防に興味を持ってもらえるよう工夫しました。

また、図書館イベントとの連携事業として、図書館のイベントおよび当消防本部の取り組みに参加した子どもたちを対象に、消防車両への乗車体験も実施しました。

この取り組みを通じて、子どもたちに消防や防災を身近に感じてもらう機会となりました。

今後も、当消防本部では各課との連携を推進し、それぞれの強みを生かし、防火防災行動につながる啓発に取り組んでまいります。



【ブース展示品の様子】



【乗車体験の様子】

◆ 北消防署真和志出張所の運用を開始

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和8年9月11日（金）、北消防署真和志出張所の運用を開始しました。

新庁舎は、平成23年度に策定された「那覇市消防力整備計画」に基づき、築40年を迎えた国場出張所の機能を移転するとともに、出動から「6分30秒以内」で放水活動を展開するための署所配置とすることで、那覇市内ほぼ全ての地域で早期の災害対応が実現できることとなりました。

那覇市消防局では、今後も人員・施設の整備を進め、安全・安心のまちづくりの実現に取り組んでまいります。



【真和志出張所大交代の様子】



【新庁舎の看板】

◆ 「救急フェスタ」を開催

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和8年9月12日（土）、新千里消防署において、「救急フェスタ」を開催しました。

このイベントは、豊中市市制90周年記念および救急医療週間中の行事として、若い世代に対する救急医療や応急手当の普及啓発を目的として開催したものです。

当日は、親子で楽しめる救急・医療に関するクイズや心肺蘇生法の実演、救急隊によるLive 119を取り入れた救急展示訓練などを実施しました。

また、市制90周年記念オリジナルトレーディングカードを作成し、来場者に配布しました。



【親子クイズの様子】



【救急展示訓練の様子】

◆ 「いのちのWAプロジェクト救急フェア2026」を開催

姫路市消防局（兵庫）

姫路市消防局では、令和8年9月13日（日）、アクリエひめじにおいて、救急医療週間の取り組みとして「いのちのWAプロジェクト救急フェア2026」を開催しました。

このイベントは、地域の蘇生率向上を目的として、医療・消防・行政・教育などが連携して実施したもので、当日は小・中学生を中心に約1,100人が参加しました。

会場では、「誰にでもできることがある」をテーマに、心肺蘇生法や119番通報、#7119の体験を通じて救急車の適正利用について学ぶ機会を設けたほか、Live 119やマイナ救急の広報、病院・防災体験などを実施しました。

また、バイスタンダーによる応急手当で救命され、社会復帰した20代女性の講演を通じて、勇気を持って行動することの大切さを伝えました。

さらに、集客が課題となっていた救急医療フォーラムを併設するとともに、熊本地震義援金の募金活動も実施しました。

今回の取り組みを通じて、心肺蘇生法が教育現場に定着し、地域の救命力向上につながることを期待しています。



【BEAT PUSH～リズムに合わせて胸骨圧迫】



【社会復帰した20代女性の講演の様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正について

（消防救第347号、令和8年9月17日）

消防庁救急企画室長から、各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、救急業務の推進につきまして御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

コンゴ民主共和国とウガンダにおけるエボラ出血熱に係る対応については、「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」（令和8年5月21日付け消防救第162号（令和8年8月28日一部改正）。以下「消防庁通知」という。）により、御対応と御協力をいただいているところです。

今般、「「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正」（令和8年9月16日付け健康・生活衛生局感染症対策部企画・検疫課、検疫所管理室長事務連絡）が発出されたことを踏まえ、消防庁通知を改正することといたしました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260917_kyuuki.pdf）に掲載されています。

【お問合せ先】

消防庁救急企画室 金子、森、森原

電話：03-5253-7529

E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

▽報道発表

◆ 令和8年度消防防災科学技術賞受賞作品の決定

(令和8年9月25日、消防庁)

「消防防災科学技術賞」は、消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰するものです。

この度、令和8年度「消防防災科学技術賞」の受賞作品を決定しました。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260925_syouken_01.pdf) に掲載されています。

連絡先
消防庁消防研究センター研究企画部
担当：千葉、福原
電話：0422-44-8331

◆ 令和8年8月の熱中症による救急搬送状況

(令和8年9月25日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和8年8月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20260925.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

[目次に戻る](#)

◆ 林野火災における消火剤を活用した空中消火活動に関する検証の実施

(令和8年9月25日、消防庁)

大規模林野火災への対応力の向上を図るため、林野火災における消火剤を活用した空中消火に関する検証を、岩手県、栃木県、山梨県、長野県、愛知県、愛媛県及び福岡県の7か所で実施することとしましたので、お知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/e776a7c4fc8ce1b2e51bb101496a233fe209261d.pdf>) に掲載されています。

消防庁：国民保護・防災部 防災課 担当者：知念災害対策官・中山係長・西本主査 連絡先：03-5253-7525

◆ 令和8年度危険物事故防止対策論文募集

消防庁・危険物保安技術協会

危険物を取り扱う事業所や消防関係行政機関などで取り組まれている事故防止や安全対策の活動などについて論文を募集します。普段行っている身近な行動に関するものなど、幅広く受け付けますので、皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

1 論文の内容

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもので、次のようなもの

- ・提言、アイデア、経験など
- ・事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
- ・事故の分析
- ・最新技術を利用した危険物施設の事故防止対策
- ・職場等の安全対策
- ・事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

2 応募締切

令和9年1月31日（日）必着

3 選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員などによる審査委員会において、厳正な審査を行います。

4 賞

消防庁長官賞	賞状および副賞（20万円）	<2編以内>
危険物保安技術協会理事長賞	賞状および副賞（10万円）	<2編以内>
奨励賞	賞状および副賞（2万円）	<若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

5 応募方法

ア 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内などで発表された場合は応募可能とします。一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。

イ 受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。

ウ 著作権その他の権利関係に問題が生じないようにご注意ください。

エ 消防庁の競争的研究費（消防防災科学技術研究推進制度）による研究課題に係る成果については、選考対象外となります。

オ A4（字数換算：1ページあたり40字×40行程度）1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表および写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4（1ページあたり1,600字程度）で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。

カ 論文の概要を添付してください。

キ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）」および受賞論文発表時に明記する勤務先などがある場合の「勤務先名称および所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。

ク 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。

ケ 論文は、返却いたしません。

6 あて先及び問い合わせ先

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル

E-mail アドレス khk_ronbun@khk-syoubou.or.jp

危険物保安技術協会ホームページ <https://www.khk-syoubou.or.jp/>

協賛 全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟
電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会
公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 柳田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事: kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド: honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

